

F106		地域福祉	
英名科目名	Community(-based) welfare		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL:075-325-5350 FAX:075-325-5317		
担当教員	石井 祐理子 (健康科学部医療福祉学科 教授)		
開講期間	2021年04月06日(火)～2021年07月20日(火) 1講時 8時50分～10時20分 休講 2021年05月04日(火・祝)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	火曜日 1講時
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	5	京カレッジ生定員	5
試験・評価方法	<p>【成績評価方法】 テスト40%、課題ワークシート40%、コメントカード20%</p> <p>【成績評価基準】 テストやレポートでは、授業の内容から知識の理解を問う問題を出題する。 規定回数以上出席し、コメントカードにて授業内容の理解がや意欲も考慮して課題内容、テストの成績を総合的に判断し60点以上を合格ラインとする。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科目等履修生(履修料20,000円、選考料科目数を問わず10,000円) 聴講生(聴講料10,000円、選考料免除)		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>女子のみ受講可</p> <p>【授業時間外学修(予習・復習等)について】 地域福祉は私たちの身近な問題を取り上げることが多いので、授業に参加するにあたっては、常に新聞やニュースに関心を持ち、自分なりの意見をもつこと。 他の社会福祉専門科目と共通する内容も多いため、授業内容をしっかり理解し、質問があればコメントカードを活用すること。また配布資料や各自のノート、教科書などを使って、常に復習することが望ましい。</p> <p>【担当者からのメッセージ(履修上の留意点等)】 授業は各回でテーマを設定していますが、毎回の内容を積み重ねることで学びが深まります。 履修にあたっては、身近な地域活動に関心を持ち、実際にボランティア活動などへの参加経験を持っていることが望ましい。 研究室は慈光館5306です。 オフィスアワーなど利用して質問する場合は、必ず事前連絡を入れてください。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>【授業テーマ】 地域福祉の基本的枠組みと概要を理解する</p> <p>【授業の概要】 コミュニティの弱体化と少子高齢社会を背景とした社会の状況をふまえ、現状の地域福祉課題の解決策とこれからの地域福祉推進のあり方について学ぶ。海外や日本における地域福祉の概念について、その歴史の変遷から地域福祉の本質を知り、現在の地域社会においてどのような問題がどのような要因から起きているのかを知る。そして問題解決のために自治体や社会福祉協議会などの専門機関や町内会やNPOなどの自主的活動団体等など多様な地域福祉推進主体について理解する。さらに具体的なサービスの担い手となる専門職や</p>			

非専門職がどのような連携やネットワークを用いて解決に向けた取り組みを行っているかを理解する。授業では、マスメディアで取り上げられている事件や出来事などを活用し、学生自身が地域福祉を身近に感じられるように工夫する。

【到達目標】

1. 地域・コミュニティの特性とその意味を理解する
2. 地域福祉の変遷と現状について理解する
3. 地域福祉における相談援助の役割を理解する

講義スケジュール

【授業計画及び授業内容】

- 1回 オリエンテーション(授業運営と概要説明)
- 2回 地域福祉の基本的な考え方
- 3回 地域福祉の発展過程
- 4回 地域福祉の歴史 イギリス
- 5回 地域福祉の歴史 アメリカ
- 6回 地域福祉の歴史 日本
- 7回 社会福祉協議会の役割
- 8回 社会福祉協議会の機能
- 9回 社会福祉法人の役割と機能
- 10回 地域コミュニティ型組織アソシエーション型組織とは
- 11回 住民の参画の意義と方法
- 12回 ボランティアとNPOについて
- 13回 企業による地域福祉活動
- 14回 地域福祉活動の担い手について
- 15回 テストとまとめ

【授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック】

授業のすすめ方
講義だけでなく、視聴覚教材の視聴、グループ学習、個人での作業を取り入れ、できるだけ学生が主体的に参加できる場を設けて、考えることを重視した授業を行う。

資料配布

教科書にあわせ、授業内容に沿った資料を必要に応じて配布する。
欠席した場合は各自で担当教員までに取りに行くこと。

レポート提出

授業の中で課題提出の指示を出し、その授業時間内あるいは指定した時間のみにて回収する。

コメントカードの提出

原則として毎回授業終了時に「コメントカード」への記入をし、提出することを求める。コメントカードの提出によって授業内容の理解の程度や出席状況を判断する。また、次回の授業時にフィードバックを行う。

教科書	新・社会福祉士養成講座 第3版「地域福祉の理論と方法」社会福祉士養成講座編集委員会、中央法規出版、最新版
参考書	なし